

平成25年第1回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 国の緊急経済対策に伴う補正予算について

まず始めに、国の緊急経済対策に伴う補正予算についてであります。景気回復などを目的とした交付金等を活用し、地域経済の活性化や暮らしの安全確保につながる事業として、舗装補修や公園の改修、下水処理センターの動力制御盤更新などを実施してまいりたいと考えております。

なお、本定例会において各事業における必要な経費の補正予算を提案させていただきますところであります。

2 西部中学校体育館について

次に、西部中学校体育館についてであります。昨年7月から改築工事を進め、2月末に完成することとなりました。

新たな体育館は、鉄筋コンクリート造2階建てで、面積も現在の倍近い約1,100平方メートルとなるものであります。

また、照明のLED化や太陽光発電システムを設置し、環境面への配慮も行ったところであります。

今後は、学校開放など地域の皆様にも利用していただけるものと考えております。

3 緑陽小学校跡施設の無償貸付について

次に、緑陽小学校跡施設の無償貸付についてであります。社会福祉法人北海長正会と2月8日に仮契約を締結したところであります。契約の内容につきましては、貸付期間を10年とし、同法人が運営する認知症グループホームやサービス付き高齢者向け住宅などのほか、地域の交流拠点や防災拠点などが配置されることとなっております。

なお、本定例会においてこの契約に係る財産の無償貸付について提案させていただいたところであります。

4 広域ごみ処理について

次に、広域ごみ処理についてであります。本市と千歳市、長沼町、南幌町、由仁町、栗山町の2市4町で構成する道央地域ごみ処理広域化推進協議会において、1月17日に、平成25年度の業務計画と予算案を決定したところであります。

平成25年度からは、本市から職員2名を派遣し千歳市に事務局を設置するとともに、ごみ処理の広域化に係る基本計画や基本方針の策定などに着手してまいります。

5 し尿及び浄化槽汚泥の処理について

次に、し尿及び浄化槽汚泥の処理についてであります。平成21年度から下水処理センターにおいて処理施設の整備を進め、昨年12月に完成し、現在試験運転を行っているところであります。

今後、道央地区環境衛生組合と委託契約を締結し、4月1日から本格的に処理を開始してまいります。

6 夕張シューパロダム広域施設に係る負担について

次に、夕張シューパロダム広域施設に係る負担についてであります。平成8年度から事業に着手しております石狩東部広域水道企業団の拡張事業は、平成16年度に将来の水需要の状況を考慮して、当初計画の供給水量を約3分の1に縮小する見直しを行ったところであります。

これに伴い、平成16年度までに建設してきた施設の減価償却費や地方債の償還費等が将来多額になることから、水道料金等の低減を図るため、その対策について構成団体による協議を重ねてきたところであります。

本年2月6日の構成団体長会議において、各構成団体の減水量に応じ負担することとし、その内容について確認書を締結する予定であります。

なお、本市負担額については、今後60年間で約16億7,700万円と見込まれているところであります。

7 道都大学について

次に、道都大学についてであります。同大学から2月15日に横浜市に本部のある学校法人国際学園と、教育事業の安定化と発展を目指すため、学生等の募集活動や教育内容の向上など、多方面にわたって業務連携を進めるとの報告を受けたところであります。

これまでも、道都大学とは市の計画づくりや事業への参加、学生のボランティア活動、生涯学習等の様々な分野で連携や協力を深めてまいりました。

今後につきましても連携を強めてまいりたいと考えております。

8 降雪状況について

次に、降雪状況についてであります。12月から現在まで断続的な降雪や真冬日が連続したことなどから、降雪量は2月24日現在で4メートル73センチと平年を大きく超える状況となっているところであります。

この様な状況から、第1回臨時会において除雪経費を増額し、新雪除雪や道路拡幅・排雪などに対応してきたところであります。今後も降雪が予想されることから、さらに除雪経費を増額し、引き続き安全な通行の確保に努めてまいりたいと考えております。

なお、本定例会において必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

以上申し上げ、行政報告といたします。